



# 現代社会 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時間)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月	第1部 わたしたちの生きる社会 (4) 1 地球環境問題	・地球環境問題の現状について把握させるとともに、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気づかせる。 ・資源・エネルギーの利用において国家間の利害が衝突している現状を認識させる。とくにエネルギー問題にあつては、国内の情勢だけでなく国際的な動向にも注目させ、原子力や新エネルギーによる発電がどうあるべきかを考察させる。	1.地球環境問題(4) 2.資源・エネルギー問題 3.科学技術の発達と生命 4.情報化の進展と生活		
	5月	2資源・エネルギー問題 3科学技術の発達と生命 4情報化の進展と生活	・人類の福祉という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察させる。 ・情報化社会における課題を踏まえ、情報化社会に生きるためのモラルやルールについてどのような規制や法整備によって調整を行っていくべきかを考えさせる。	1.現代社会と青年(4) 2.青年期の発達課題 3.自己形成と社会のかかわり 4. 道路と生きがいの創造		
	6月	第2部 現代の社会と人間 (10) 第1章 青年期と自己形成の課題 1 青年期の自己の形成 2 よりよく生きることを求めて	・世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させるとともに望ましい政治や主権者としての参政の在り方について考えさせる。 ・自己理解を進め、自己形成の課題を考察し、勤労観・職業観を含め、どのように社会参加を果たしていくのかなど自らの人間としての在り方生き方について考察する	1.哲学と人間 2.宗教と人間 3.近代科学の考え方 4.人間の尊厳 4.人間の尊厳 (7) 5.人間性の回復を求めて 6.日本の伝統思想の考え方 7.外来思想の受容と日本人の自覚		
	7月	第2章 日本国憲法と民主政治 (19) 1 民主政治とは (前期中間考査)	・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考えさせる。	1.民主政治の成立 (3) 2.基本的人権の成立 3.世界の政治体制		
	8月	2 日本国憲法の基本原理 3 日本の政治機構 4 現代政治の特質と課題	・議会制民主主義と権力分立について、その意義や多数決の原理と運用方法などについて理解させるとともに、民主政治の権力分立の意義を法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深めさせる。 ・民主政治のもとでは、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことになるという理解させる。	1.日本国憲法と三つの原理 4.新しい人権と人権保障の広がり 2.基本的人権の保障(1) 5.平和主義と安全保障(1) 3.基本的人権の保障(2) 6.平和主義と安全保障(2) (7)		
9月	第3章 現代社会と法  (前期期末考査)	・法に関する基本的な考え方を身に付けさせる。	1.国会と立法 2.内閣と行政 3.裁判所と司法 (5) 4.地方自治			
後 期	10月	第4章 現代の経済と国民福祉 (19) 1 経済のしくみ	・激動する経済社会について、様々な角度から理解を深めさせ、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察させる。 ・金融の意義や役割を理解させるとともに、金融政策の目的と手段について理解させる。 ・新聞記事を題材にし、現実の動きと関連させて説明する。 ・政治・経済の学習内容と関連させる。	1.経済社会の変容 5.金融のしくみと働き (8) 2.現代の企業 6.中央銀行の役割と金融の自由化 3.市場経済のしくみ 7.政府の役割と財政 4.国民所得と経済成長		
	11月	2 変化する日本経済 3豊かな生活の実現	・都市型・生活型公害や身近な環境汚染の事例をもとに、その解決には法整備だけではなく、個人や企業にも社会的な責任が課されていることに気づかせる。 ・近年の雇用や労働の動向を、経済社会の変化や国民の勤労権の確保の観点から考察させる。	1.戦後復興と高度経済成長 (5) 2.産業構造の転換と国際経済環境の変化 3.バブル後の日本経済 4.中小企業と農業		
	12月	第5章 国際社会と人類の課題 (18) 1 国際政治のしくみと動向  (後期中間考査)	・人間として生活が保障される社会保障制度の意義や役割を理解させるとともに、医療・介護・年金などの保険制度にみられる現状と課題を理解させる。 ・国際法の意義について理解する。 ・国際連合の目的、平和と安全を維持する組織構成や取り組みを理解する。	1.自立した消費者への道 4.社会保障の役割 (6) 2.労働者の権利 5.環境保全と循環型社会 3.現代の雇用・労働問題		
	1月	2 国際経済のしくみと動向 3 国際社会の現状と課題	・第二次世界大戦以降の国際政治体制を理解し、その課題を考察する。 ・核軍拡競争の背景と核軍備管理と軍縮実現の方法を考察する。 ・人種・民族問題の背景と国際的な人権保障の現状を理解し、人権問題の解決について考察する。 ・貿易に関する基本的立場の違いを確認し、国際収支表、外国為替市場を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際経済を概観し、理解する。 ・地域経済統合の目的やグローバル化する世界経済の現状を理解し、国際経済に与える影響や課題を考察する。 ・国際社会における貧困や格差について理解させるとともに、先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。	1.国際社会の特質 4.国際連合の役割と課題 (7) 2.国際紛争を避けるしくみ 5.冷戦とその後の世界 3.国際連合と安全保障 6.軍縮への取り組み 1.貿易と国際分業 (5) 2.外国為替のしくみと国際収支 3.戦後国際経済の枠組みとその変化 4.対立と協調の時代 5.グローバル化する経済		
		第3部 ともに生きる社会をめざして		1.地域統合の進展 (6) 2.変容する世界経済 3.国際的な格差の是正 4.地域紛争と難民問題 5.国境を越えて広がる地球規模の課題 6.日本の役割		

